

## ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町七三一五

TEL 027・2555・3434

FAX 027・2555・3435

http://www.neues-asahi.jp

今年のノーベル文学賞を受賞したカズオ・イシグロの「忘れられた巨人」を読み終えて「記憶」とは、一体どのようなメカニズムで成り立っているのかと思えました。古きイギリス、森と深い霧が漂う荒涼とした大地。旅を続ける夫婦の会話には、たびたび忘れ去られた記憶の断片が現れます。少し調べてみると、記憶には「ワーキングメモリ」「短期記憶」「長期記憶」があり、「ワーキングメモリ」は数秒から十数秒の記憶、電話番号を見て一瞬覚え、用事が済むとすぐに忘れてしまうようなもの。「短期記憶」は数十秒から数分の間の記憶、ちよつとした買い物などのことは覚えていられるもの。「長期記憶」は半永久的な記憶で住所や友人の名前など。その記憶のメカニズムは、ワーキングメモリは脳の前頭前皮質に、短期記憶から長期記憶に移しかえるのは海馬という場所が重要な働きをしているそうです。

また、記憶を呼び起こす時は、ニューロンのネットワークを使った回路を用いているとか……とにかく柔軟的で未知なる世界です。

テレビを見ていて俳優の名前が出てこない、街であった知人の名前が出てこない。隣の部屋に行って自分が何を取ってきたのか思い出せない……そんな事がよくあると多くの人から聞きます。

その度に「年齢相応なのでは……」と答えています。そんな返答をしつつ、自分でも言える立場ではなくなってきました。

子供の頃に遊び歩いた山や川、そして庭に咲いていた金木犀の香り、さらに夏のラジオ体操や雨の音などの記憶の断片は、昨日のように「長期記憶」の引き出しからニューロンのネットワークで映像化されます。年齢を重ねれば重ねるほど古い記憶は、すぐに取り出せるのに最近入れた記憶はなかなか引き出しがキシキシと音を立てて引き出せない……いったいどういうことなのでしょう。

小川洋子著「博士の愛した数式」では、八十分しか記憶がもたない元数学者「博士」と、その家に派遣された「私」と十歳の息子との話です。一人で母親の帰りを待っているのは……と次の日から息子を連れてくるようにと博士は言い、その子に「ルート」と名づけ、温かな日々の映像が展開されます。博士の服にたくさん付けられた付箋紙(メモ)が今でも「記憶とは」という疑問を投げかけてきます。

カズオ・イシグロの作品も小川洋子の書籍も時間があつたら一読を。なお、「博士の愛した数式」は、映画にもなっています。

(武藤)

## ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

## ノイエス ふる本市 〈企画〉

会期 十一月四日(土)～十二日(日)  
午前十時～午後五時  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

恒例になりました「ノイエス ふる本市」です。芸術、哲学、心理学、宗教、歴史、地理、社会科学、自然科学、文学、医学、生活一般にいたるまで各分野の書籍が並びます。特に美術書。是非ご来廊ください。新しい出会いが、そして新しい世界が開けます。秋の静かな夜を一冊の本がもたらせてくれる時間を楽しんで下さい。お待ちしております。

## おし花といけ花の秋の共演

会期 十一月十七日(金)～十九日(日)  
午前十時～午後五時(最終日は午後四時)  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

## 第2回 楢円展 カオス・波動・破壊 〈企画〉

会期 十一月二十一日(火)～二十九日(水)  
午前十時～午後五時  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

## 出品作家

掛川孝夫 河内世紀一 酒井重良 住谷夢幻  
染谷 滋 福島保典 藤森カツジ 真下京子

## 記念講演会 講師・染谷 滋

上毛新聞連載『群馬の美術130年』を終えて  
十一月二十六日(日)午後二時(同会場にて)  
入場料・無料

## 作家との会話から

ここ数日、個展や団体展、企画展など県立美術館、市立美術館、文学館と車を走らせて多くの作家の新作や会話を楽しんでいます。

昔(三十年以上も前)、酒宴をともにしていた作家もいれば、初対面で立ち話をして終わる作家もいます。

その昔にはカウンターに作家が数人並び、お互いの作品について激論を交わして、最後には喧嘩らしき終りかたをして、いつしかカウンターから誰もいなくなっている……といったこともありました。いつか酔いも醒めてしまえば味の悪い、胃が痛くなるようなことも……。

また、作家同士の会話があまりに興味深い内容で、夜中に歩きながら見る夜空を別世界のような景色に思え、何とも幸せな気分が帰ったこともありました。

最近では、社会全般に情報が溢れているという現実。個人情報などのプライバシーの問題があるというSNS、フェイスブックなどの情報手段もますます広がっています。

そんな中、人が出会い、会話を交わすという手段も激減。通信手段も便利になったようでも、何かとても大事な何かを失っていく感覚に陥ります。

ノイエスで個展やグループ展をされる作家との会話は非常に深い部分で多くのことを知ることになり、皮膚感覚で感じられる楽しさもあります。

来廊される方々も、作品をご覧になり、また作家と話すことでノイエスでの時間を楽しんでいただけだと思います。スタッフ一同お待ちしております。

## 来年のちよつとした情報

## 特別展 仁和寺と御室派のみほとけ

天平と真言密教の名宝

二〇一八年一月十六日(火)～三月十一日(日)

## \*月曜休館

東京国立博物館 平成館 当日一六〇〇円

\*ノイエス朝日にパンフレット・割引券あります。

(詳細は、パンフレットをご参照下さい。)



二〇一八年 新春特別企画 〈ノイエス予告〉

「かがやく石川のKŌGEI」展

日本工芸会石川支部 川北浩彦(木竹工) 吉田幸央(陶芸)  
 坂本康則(漆芸) 荒川文彦(漆芸)  
 多田幸史(陶芸) 四ツ井健(染色)

「ノイエスだより」49号に引き続き「かがやく石川のKŌGEI」の二作家、坂本康則氏と荒川文彦氏をご紹介します。



蒔絵箱「夏の夜」

坂本康則

1976年 石川県立輪島漆芸技術研修所 沈金科 卒業  
 1979年 日展作家(蒔絵)父・正春に師事  
 1980年 日本伝統工芸展 初出品 初入選  
 1986年 石川の伝統工芸展 石川県知事賞 受賞  
 1990年 国際花と緑の博覧会 政府苑「文化・伝統」館 招待出品  
 1998年 日本べつ甲工芸技能コンクール 東京都知事賞 受賞  
 2000年 北京 中国美術館「日本国石川伝統工芸美術北京展」出品  
 2001年 日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞 受賞  
 2002年 石川の伝統工芸展 奨励賞 受賞  
 2003年 日本橋高島屋にて四人展 漆部展開催  
 2005年 国際琥珀製品コンクール 伝統文化保存賞 受賞  
 2016年 石川の伝統工芸展 奨励賞 受賞  
 現在 日本工芸会正会員・石川支部幹事  
 石川県立輪島漆芸技術研修所講師  
 重要無形文化財輪島塗技術保存会会員

蒔絵箱「夏の夜」

夏の夜と言えばホタル。昔はどこでも見れた情景ですが、近年は見れる場所が少なくなりました。幼いころ見た情景を私なりに膨らませて、箱に表現しました。  
 螺鈿で水を表わし、シダはぼんやりと、主役のホタルはのびのびと宙を飛び回る。  
 ホタルの光は沈金技法で表現、蒔絵と沈金の合作です。

坂本康則



銀線文干菓子盆

荒川文彦

2002年 日本伝統漆芸展 東京都教育委員会賞受賞  
 2005年 第五十二回日本伝統工芸展 髹漆線文喰籠「遙」  
 文部科学大臣賞受賞  
 2007年 日本伝統漆芸展 文化庁長官賞受賞  
 2008年 日本伝統漆芸展 東京都教育委員会賞受賞  
 2010年 日本伝統漆芸展 MOA美術館賞受賞  
 2015年 石川の伝統工芸展 北國銀行頭取賞受賞  
 2017年 石川の伝統工芸展 NHK金沢放送局長賞受賞  
 現在 日本工芸会正会員  
 金沢美術工芸大学非常勤講師  
 石川県挽物輪島漆芸技術研修所非常勤講師

作品制作について

木胎から乾漆まで作品によって考え違い、漆本来の艶を生かすため、塗立技法にて仕上げ、また銀線を象嵌技法にて塗り肌金属線に配し加飾と引き締め効果を考え用いています。

色合い、艶具合の経年変化を楽しめ、また私なりに現代の生活空間に似合うようにと制作しております。

荒川文彦

台所の風景

先日、土鍋の講習会に行ってきました。

土鍋で豚肉と野菜を蒸す料理とメインはコーヒの豆を土鍋で焙煎する方法とコーヒの入れ方を講師の指導で学びました。新しい知識を得る喜びを再度体験。

土鍋で焙煎?とは思ってみましたが、なかなか深い美味しいコーヒを入れることが出来ました。

次の講習会は、京都の老舗の方による煎茶と抹茶の講習会でした。これまた抹茶、玉露やかぶせ茶など茶葉の栽培の違いや抹茶のアレンジなど風変わりな抹茶のいただき方、デミタスカップで……。少しびっくりしました。

こんな時代になってきたのかと……。確かに抹茶ブームでホワイトチョコに抹茶を入れたりしてバレンタインのチョコを作ったりしますが、最近では、ケーキやクッキーに抹茶をいれるのは、ごくごく普通になっています。抹茶には、身体に良いとされる効用も多いようです。



クリスマスカード・年賀状  
活版印刷いつでもできます!

2017年11月13日(月)~17日(金)

午前10時~午後6時

— 1種類¥1,000 —

- ◆ミニカード&封筒 5枚
- ◆二つ折りカード&封筒 3枚
- ◆和紙耳付きはがき 5枚



DiPS.A news  
Vol.50

活版印刷ワークショップ

クリスマスカード&年賀状特別企画!

期間中はいつでも、たくさんある版からお好きな柄を選んでハガキや二つ折りカードを印刷することができます。スタッフの準備の都合上、ご予約いただくとよりスムーズに対応できますが、予約なしでご来店いただいても体験可能です。期間外には要予約で同じワークショップをご用意できます。お気軽にお問い合わせ下さい。

※毎年ご好評いただいていますスケジュール帳のリング製本ワークショップも2018年版をご用意できています。ご予約お待ちしております。

お申し込み・お問い合わせ ディップス朝日 ワークショップ担当まで TEL 027-254-1212